

場所 広島県三原市

面積 8.3ha

- 活動目的**
- ・地域の生物多様性保全
 - ・周辺環境と調和した景観の形成
 - ・生産施設からの騒音などの影響の緩衝
 - ・従業員の散策やリフレッシュ、自然とのふれあいの場の提供



サイト概要

本サイトは、広島県三原市に位置する三菱重工業（株）三原製作所 和田沖工場内の緑地である。周辺の自然環境との調和を目指した植栽により、アラカシ、マテバシイ等の常緑広葉樹を中心とした森林が形成されている。40種以上の鳥類が確認されており、みはらし連山と瀬戸内海および沼田川から、瀬戸内海国立公園筆影山・竜王山へ飛来する鳥類の休息・生息場所となっていると考えられる。紙工機械や新交通システムを主力製品とする三原製作所は、当社グループ工場のカーボンニュートラル実現に向けたパイロット工場として位置付けられており、12MWの太陽光発電設備を導入し工場内の使用電力すべてを脱炭素化するとともに、カーボンニュートラルソリューションの開発フィールドとして活用している。

土地利用の 変遷

元々農業用地として干拓された土地を1968年に当社が取得し、1974年から工場立地法に基づく緑化工事を開始した。当時、三原製作所和田沖工場内の約13万平方メートルに4万本の樹木・苗木を植樹した。緑化にあたっては、工場の敷地境界に沿って周囲の自然環境との調和を図った。樹木が生い茂り始めた1980年頃からはキジの飛来・繁殖が確認されている。緑地の維持管理の努力が認められ、1983年には広島県緑化モデル工場の知事表彰を受賞した。

サイト周辺の 環境

工場南側にある筆影山は瀬戸内海国立公園に指定されている。工場北側は二級河川の沼田川、東側は瀬戸内海に接している。サイト北側には三原製作所のカーボンニュートラル化のために導入した太陽光発電設備が設置されている。

アピール ポイント

- ・ サイト内には多様な植物が植えられ、周辺の自然環境と調和のとれた森林が形成されている。40種以上の鳥類が確認され、地域の生物多様性保全に貢献していると考えられる。
- ・ またサイト内を周回する遊歩道を設置し、従業員の散策やリフレッシュ、自然とのふれあいの場として活用している。
- ・ 三原製作所では、当社グループ工場のカーボンニュートラル実現に向けたパイロット工場として、太陽光発電設備の設置や徹底した省エネ・合理化などの取り組みを先行してきた。現在はカーボンニュートラルソリューションを挑戦的に集約し、段階的なカーボンニュートラルの実現に取り組んでいる。自然共生サイト認定後は、カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの両面から取り組みを発信していき、気候変動と生物多様性の損失の統合的な解決に貢献していきたいと考えている。

生物多様性の価値

価値（４）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

工場内緑地として、工場から出る騒音などの周辺地域への影響を緩和するとともに、筆影山等の周囲の自然環境と調和の取れた景観を創出している。またサイト内を周回する遊歩道を整備しており、従業員の散策やリフレッシュ、自然とのふれあいの場としても活用されている。今後は、従業員や工場見学に訪れる小中学生への普及啓発活動の場としても活用していく計画である。

【主な植生】

周辺の自然環境との調和を目指した植栽により、アラカシ、マテバシイを中心とした常緑広葉樹林が広がる。

【確認された主な動植物など】

（植物）

アラカシ、マテバシイ、ウバメガシ、ナンテン、クスノキ、シロダモ、ネズミモチ、ヒイラギ、ヤマトアオダモ、サザンカ、マンリョウ、モッコク、マサキ、カナメモチ、サクラ、クロガネモチ、サルトリイバラ、ヤブラン、ススキ など

（鳥類）

エナガ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヤマガラ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、ツグミ、ヒヨドリ、ホオジロ、ムクドリ、メジロ、モズ、アオバト、キジバト、カワウ、コゲラ、ツミ、トビ、キジ、ミサゴ、ヒバリ、ウグイス、シロハラ、カワラヒワ、アオジ、ダイサギ、ツバメ、イワツバメ、キビタキ、イソヒヨドリ など

（哺乳類）

タヌキ、キツネ



写真の説明：サイト内の遊歩道の様子



写真の説明：クスノキ

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>＜目的＞</p> <p>工場周辺の自然環境と調和した景観や多様な動植物が生息生育する健全な生態系を創出し、維持管理することによって、従業員や地域社会に自然とのふれあいの場を提供するとともに、生物多様性を保全することを目的とする。</p> <p>＜内容＞</p> <p>以下に取り組むことでサイトの維持管理を行い、生物多様性を維持していく。</p> <ul style="list-style-type: none">・工場周辺の自然環境と調和した景観の形成や鳥類の休息・生息にとって不可欠な森林の維持管理のため、定期的な間伐を行う・在来種を中心とした健全な生態系を維持していくため、今後、植樹を行う際には、在来種を選定する・鳥類の休息・生息場所として適した環境を保全するため、森林の維持管理に加え、巣箱の設置を行う・従業員の散策やリフレッシュ、自然とのふれあいの場としての遊歩道を維持するため、定期的な草刈りと落葉等の除去を行う・従業員や工場見学に訪れる地域の小中学生等に対して、本サイトの取組みと三原製作所内の工場カーボンニュートラル化の取組みをセットで扱った普及啓発を行う <p>＜実施体制＞</p> <ul style="list-style-type: none">・基本的には当社三原製作所の従業員が中心となって実施・必要に応じて社外団体とも連携	<p>【モニタリング対象】</p> <ul style="list-style-type: none">・植物、鳥類 <p>※モニタリング対象の拡大（昆虫類等）についても今後検討していく</p> <p>【モニタリング場所】</p> <ul style="list-style-type: none">・サイト全体（立入制限エリアを除く） <p>【モニタリング手法】</p> <ul style="list-style-type: none">・ラインセンサス調査 <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】</p> <ul style="list-style-type: none">・植物調査：年2回・鳥類調査：年4回（春、夏、秋、冬） <p>【モニタリング実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none">・基本的には当社三原製作所の従業員が中心となって実施・三原野鳥の会のほか、必要に応じて地域の関連団体とも連携